

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 愛の家グループホーム土佐蓮池

ユニット名 3階

自己評価実施年月日 平成 20 年 9 月 6 日

記録者氏名 川口令子

記録年月日 平成 20 年 9 月 19 日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以下の理念をつくりあげてサービスを行っている。我々は、 一、その人らしい、快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします。 一、心を込めた親切なサービスに努め、その心を磨き続けます。 一、さまざまな機会を通じて、地域の人々とのふれ合いを大切にします。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットのスタッフルームにかかげ、目につくようにしている。管理者と職員で理念を毎日のように唱え、実践するよう取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の方々との関わりの中で（散歩時、推進会議時）理解して頂くようお話ししている	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設の庭作りの時などに花の苗を頂いたり、花を差し上げたり、施設独自のカレンダーをもってご挨拶に行ったり努力している	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くの保育園・小学校などの運動会や行事、地域の祭り等に参加し、交流している	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>今後も地域の方々に貢献出来るよう取り組む。 (草引き、雑巾縫い等)</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	大切なものの扱いや、解約時の経費面等、不安や疑問のお尋ねに対して十分な説明をさせて頂き、理解や納得されるよう図っている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満や苦情を表せる機会は設けている。反映できるようにしている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	お小遣い出納帳は毎月末でメ切、ご家族へコピーをして遅らせて頂いている。印やサインをもらってホームへ帰して頂いている。ご利用者様の様子は1回/3ヶ月で報告している	○	今後も、ご入居様個人の様子がご家族様に詳しくわかるよう〈ほほえみレター〉や〈蓮池ふれあい広場〉を1回/月で発送し続けたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や、家族会等で意見をお聞かせ頂けるようにし、対応させて頂いている	○	時間を要するものもあって、一部ご意見を反映できていない部分があるが、反映できるよう取り組んでいきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会、ミーティング等で職員より意見や提案を頂き、見直しや改善に努めている	○	職員が意見や提案がしやすいように、コミュニケーションをとっていく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要時には4人体制にして職員を増員し、要望にお答え出来るよう調整に努めている	○	ご家族様と昼食を共にする行事などは、大変喜んで頂いているので、今後も続けて行けるよう努力したい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動に関しては、出来るだけ利用者がダメージを受けないよう最小限に抑えるようにしている		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画を立てて研修を受ける機会を確保している	○	働きながらトレーニング出来るよう取組んでいきたい
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全くしていないわけではないが、この働きかけの取り組みは少ない	○	もっと交流できる機会を探し、見つけてサービスの質の向上のため取組んでいく
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減に努めているが、十分とは言えない	○	話し合いの時をもち、工夫や環境を作っていきたい
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の働きを認め、評価も行っている。資格の取得等進め、案内等も提供している	○	向上心が持てるよう励まし続け努力していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	困っている事、不安な事、ご要望等は相談の時からお尋ねし、受けとめ対応するよう努力している	○ 排泄に関して、パットから介助へ、食事に関して、形態等受け止めて介助し安心感を持って頂いている
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族及び関係者の方々から情報を得、支援すべきニーズを見極め対応に努めている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族に頻回に来訪して頂いたり、同じ地域から入居されているお知り合いの方等おられ、他のユニットからも遊びに来て頂くなど工夫している	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その方の経験された事、長年培ってこられたことなど、お話を聞きながら、一緒に家事、花づくりなどを楽しんでいただけるように支援している	○ その方らしい考え方や希望を取り入れ、趣味を持っていただくことではりのある生活を楽しんでいただきたい。(絵・習字・音楽など)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	3 ヶ月に一回のスタッフ手書きによるおたより（ほほえみレター）による近況報告。面会時には、ご本人のご様子を伝え、安心していただく。心配事など、気がかりな事を聞かせていただき、今後の支援に生かしている。	○	
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	離れて暮らされている事で、お互いに淋しさ、心配な事、面会が少ない事などを理解した上で、密に連絡を取る事で関係を築く支援をしている	○	スタッフ手書きのおたよりを、出来れば毎月1回実施し、ご本人の生活ぶりを細かく伝えて、ご家族に安心していただき面会にきていただけるよう、雰囲気作りに今以上に努める
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お元気な頃に毎日のように行かれた場所、逢いたい方、行きつけの店などに行く機会を作っている（スーパー・美容院等）	○	大切な方のお見舞い。以前、暮らしていた近隣の場所に行ってみたい等の希望をかなえる支援をしていきたい
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	楽しい時間を一緒に過ごすことで会話が增えるよう、スタッフも交えて昔の話など聞いて、話題作りをすることでお互いの理解を深めていただく。お食事をされる席を時々移動したり、全員で一緒のテーブルを囲む機会を作るなど、利用者同士が多く交流できるよう工夫している。	○	
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院などの理由で退居されても、その後の経過などかまわない方とは連絡をさせていただくなど、いままでの関係を大切にする	○	退居された後でも、困った事があれば相談していただけるような態勢をとっていく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフと個人的な話をゆっくりできる時間を作り、いつもは言いにくい悩みなどを遠慮せず話をしていただける機会を作っている。	○	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族が面会に見えた時など、以前の生活ぶりなどお伺いすると、今の様子と一致する部分など新しい発見があり、その方らしさを大切にしている。	○	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活を共に過ごすことで、その方の生活のペースや心身の状態を把握し、その方が出来る事（残存能力）を生かした生活。励まししながら、苦痛を感じないよう支援している。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	観察記録に心がけて、スタッフ個々に気づいた事をケアカンファレンスにて話し合う。ご家族に現在の様子と変化を知っていただくことで計画作成への参加（意向を聞く）が出来るように働きかけている。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の変化、機能の改善や低下などについては、ご本人、ご家族にもその状態を共有していただきながら、計画の見直しをする	○	ご自宅に帰られた時の様子を聞き、ホームでの様子を伝えることで、今の状態をお互いに詳しく伝え合うことを続けていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	排泄・水分・バイタル（血圧など）については、時間を追って1日の流れの中でその方のリズム・ペースが分かるよう記録している。日常の様子や変化をできるだけ細かく記録し、気づきについても伝え合っている	○	今後のケアプランに生かせるような記録に心がけ、その方の様子や暮らしぶりが読み取れるような内容も大切に残していきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他の法人内のグループホームでの運動会に参加させていただく等、柔軟な支援を行っている	○	近隣のホームでのイベントや行事に参加させて頂いたり、当ホームへも参加して頂く等、要望に応じていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	文化的な事についてはボランティアをよく利用させていただき、（唄・絵画展・菊花展等）支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご家族や本人の意向及び必要に応じて理美容等をも利用し、支援に努めている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在は必要がなく協働していないが、今後必要性が出てきた時には協働して取り組みたい		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	往診時の様子、指示などについてはその都度ご家族に伝えていく。ご本人の様子を細かく医師に伝えることで、常にお互いの意識を共有できる
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	入居者側の意向を受け、今後も希望があれば、在宅（ホーム）ケアについても支援できる態勢を整えていきたい
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>環境の変化が、認知症の方にとって大きな弊害になることをご家族にも伝えることで、その方の淋しさを戸惑いを共有しながら、心のケアを大切に支援するよう心がけている</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>その方の生活環境や地位、性格を正しく理解した上で、失礼のないように声かけ方法や、対応を行えるよう心がけている</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>スタッフとの良い関係を築くことで、思いを伝えやすい雰囲気作りに努めている。ご本人の意思を尊重し、希望を生かした支援に取り組んでいる</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>自室にて静かに過ごしたい。話しを聞いてもらいたい。外出がとても楽しみ。などの個々の希望にそって、その方の暮らし方を大切にする</p>	○	介助を要する方が多いので、外出・レクリエーション等に制約はあるが、出来るだけご本人の望みを叶えてあげられるよう努力している
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>訪問美容院は、希望される方のために随時お願いしている。ご本人行きつけの店（理容など）に行くための支援を行っている</p>	○	汚れたり、汗をかかれた時には着替えをしていただく。外出時のお化粧品、髪の毛のセットなどご本人の希望にできるだけ協力している

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>今後は今以上に準備（調理・配膳）についても少しずつ出来ることには参加していただけるよう働きかけを工夫していきたい</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>面会時に届いたおやつ等については、賞味期限などチェックしながら、個別に対応している</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>プライバシーの尊重を意識しながらの排泄介助に努めている</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>入浴時間については、もう少し柔軟に対応できればと考えている。（汚染時はすぐ対応。夜間の入浴など）</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>足の浮腫のある方や、車椅子にて日中を過ごされることの多い方については、ご本人の意向や様子により、昼寝など支援している</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>個人的には、ぬり絵・日記・ゲームなど、その方の希望や特技を生かした趣味を持っていただくよう働きかけている</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族より預ったお小遣いについては、小遣い帳として収支を明確に記録した物を月に一回報告し、使い道などを知っていただく。買物に出かけた際には、ご本人の意思を尊重し選んでいただく	○	どうしてもご自分で所持を希望される方については、紛失、しまい込みの可能性をご家族に説明、了解を得た上で、小額を所持していただく場合もあり
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、散歩、ドライブの機会をできるだけ多く持てるよう努めている。他階のスタッフとも協力し、散歩など天気の良い日は努めて外気浴を行う		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食を希望される方には、ご家族との連絡をとらせていただき機会を持てるよう協力している。身内の方のお見舞いなど、ご本人の希望があるときは、ご家族に了解を得て支援する協力をしている	○	奥様の入院されている病院への月1回のお見舞いのための外出支援を計画中。以前に暮らされていた場所や、近所の方に逢いたいなどの希望もあり、対応検討中
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と話されることで落ち着かれる方も多く、希望があればいつでも電話が出来るように支援している。ご家族よりの手紙については、読み聞かせなどの支援もしている。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	プライバシー尊重の意味も大切にし、知人・友人についてはご家族の許可を事前にいただいた上で、ゆっくりお話をされるなどの機会を作っている	○	定期的（毎週）訪問して下さるご家族が増えつつあり、気軽にスタッフとも会話ができつつある。訪問回数、人数共に増えて来ている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	随時、積極的に研修などに参加し、知識を得た上で、拘束のない介護に努めている。利用者との信頼関係ができ、行動障害改善ができています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	近隣の方々との交流面からも、訪問しやすい開放的な雰囲気作りを努めていきたい
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	転倒防止のための脚力強化・食事前の誤嚥防止体操を行い、スタッフの救急講習参加による対応努力をしている
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	救急講習についても、一度限りではなく、毎年又は1年おきに全員が受け、急変時対応の意識を高めている
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	個々の病気、障害をよく知った上で、その特徴や危険の度合いについてご家族に説明し、その情報を正確に知っていただいた上で、できるだけ楽しく自由な生活を送っていただけるよう支援に努める	○ ドライブ・散歩など、日常的に外出されることの気持ちよさを体感していただき、室内にこもる生活ばかりではない生活を楽しんでいただきたい。それが生きる意欲にもつながるので。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の生活ぶりの見守りを細かにすることで、異変の早期発見に努めている。気付いた変化はそのつど連絡・報告・記録に残し、医師の指示のもと適切な対応をしている	○ ご本人の持病・体質なども理解し、常に気を配り、異変に早く気付けるよう努める。異変時の対応についての知識も全員が共有する
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ全員が薬の内容を理解することで、服薬の正確で確実な支援に努めている。変薬、その日の体調に合わせて、調整が必要な場合は、リーダー・医師に連絡、相談し、指示通りの調整を行う	○ 状態の改善により、薬の必要量の調整が望まれる場合は、医師との相談の上指示のもと、減薬に努める。薬にたよらない排泄が少しずつ実現している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックは細かく記録し、その人に合わせた支援方法により、気持ちの良いスムーズな排便ができるよう対応している。水分補給の他、体操・歩行練習など、運動不足にならないよう努めている	○ 医師に相談し、スムーズな排便のための下剤等の使用方法についても指示を仰ぎ、調整を行っている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床・入床時には義歯を外し、歯磨き・消毒など口腔ケアを実施している	○ 毎食後の口腔ケア、舌の清潔にも気を配っていく。食事中はむせ込み、飲み込みの状態について細かくチェックしている
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の時の水分（汁・お茶・服薬の水）を細かくチェックし記録している。1日の水分量をチェックし、十分な量が摂れるよう支援している。栄養に配慮したメニューによる配食を行っている（カロリー調整含む）。その方に合わせた形態（キザミ・トロミ・ミキサー食）も実施	○ 水分や食事の摂取量が増えることで発熱・不調の訴えなど少なくなっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	予防接種実施・・・インフルエンザ ノロウイルス予防・・・毎晩夜勤帯にフロア・トイレ内の掃除、消毒。汚物は朝・夕2回室外収集場所へ持ち出している。日中、居室・手すり・床などの清潔に気を配っている	○	感染症についての知識を深め、対応方法・予防に努力していく。現在も行っているが、室内・室外・個室内の清潔に今以上に注意する
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	お刺身等は鮮魚店から一人前ずつパックにセットしていただき、ホームでは扱わないようにしている。調理器具や布巾等もジアノックや熱湯などで消毒をしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中は常に開放している。玄関前、入口付近に花を置くなど、季節感を出す工夫をして、家庭的な雰囲気作りに気掛けている	○	近所の方がホームに気軽に遊びにきていただけるような雰囲気作りの努力、声かけなどに努めたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛生にばかり気が取られることなく、花を飾るなど、居心地も良くなるよう心がけている。自室に閉じこもることなく、リビングをゆっくり出来るような場所になるよう心がける	○	季節感がある暮らし。その方らしさの感じられるお部屋づくり
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングと食堂が一緒になっている部屋の構造ではあるが、コーナーにソファを置くなどして、ゆっくり過ごせる場所づくりに努めている	○	自室に閉じこもることなく、リビングにて日中にぎやかに過ごされることが多くなっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	車椅子移動の方も多く、スペース重視の床に家具 を置けない理由はあるものの、壁を利用するな ど、生活感のある居心地良く過ごせるようなお部 屋になるよう心がけている	○	使い慣れた椅子・壁かざり・家具などの持込につ いて、家族にもお願いしながら、家に居るような 安心感を持っていただけるよう支援したい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	エアコン・換気設備は完備されているので、利用 者の状況や体調に合わせて調整している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	トイレ・浴室については、安全を重視した使いや すい作りになっている。その方に合わせたベッ ド、家具の配置に心がけ、安全に落ち着いた生活 ができるよう気をつけている	○	浴室内、脱衣所については手すりを取り付けたり、色 の工夫をすることなど実施している
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	カレンダーやタンス衣類表示など、わかりやすく 工夫している。トイレや自室の場所がわかりやす いように工夫している	○	間違っって他の方の部屋に入られないようのれんを かけるなどひと目で自室とわかるよう工夫してい る。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	敷地内に畑を作り、全員で草引き・水やりなど努 めている。玄関前のベンチは雨の日の外気浴もで き、ゆっくり外の景色を楽しむ場所になっている	○	敷地内に憩いの場を作る準備をしている（花壇・ ベンチなど）。洗濯物干しを増やし、入居者と共 に干したり、取り込んだりしている。（2F・3F）

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

常に明るい声がけと、笑顔での介護に努め、ホームでの生活の中にも活気、楽しみごとが見い出せるよう支援しています。生活の質の向上（もっと快適に意欲を持てるよう）